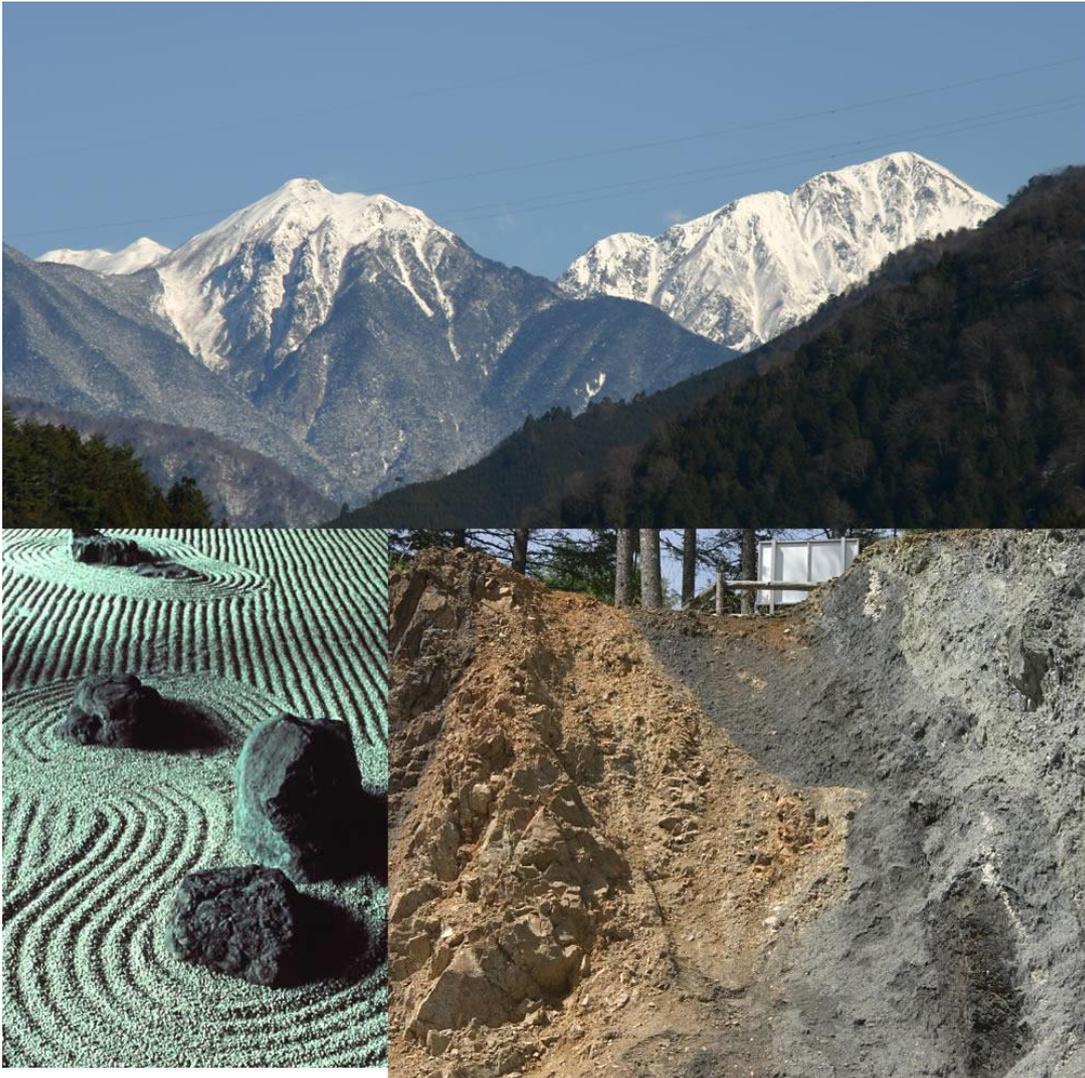


2012年4月下旬

遠山藤原学校研修・早春の毎年恒例

# 中央構造線探訪・遠山郷枯山水

—日本列島の神秘、中央構造線の断層と石を学ぶ—



研修日程：2012年4月28日（土）・29日（日）の2日間

研修場所：長野県大鹿村および飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

旅行手配・バス運行：マツカワ観光バス株式会社

## < 1、研修の内容 >

このたびは、毎年恒例、中央構造線探訪・遠山郷枯山水研修の資料請求をしていただき、まことにありがとうございます。ご存知のように中央構造線とは日本列島を東西に貫く大断層で、ちょうど長野県の諏訪から遠山郷を経て静岡県の佐久間までは、国道 152 号沿いに走っています。この断層は日本列島の誕生に深くかかわる断層で、依然として神秘的な部分が多く、断層沿いには不思議な温泉や地形が点在しています。また断層の周辺の断層破碎帯ではもろい地質のために侵食によって谷が形成されやすく、古代から都と信州を結ぶ重要な街道として利用されてきました。しかし近代になると、もろい地質のために自動車を通れる道路を作るのが難工事で、国道 152 号も 2 ヶ所が未開通となっており、地図上にそこが点線で示されていることから、点線国道と呼ばれることがあります。そして長野県から静岡県にかけての中央構造線一帯は地質や岩石の研究に参考となる地層が数多くあり、南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークに指定されています。

<http://mtlwebmusesub.web.fc2.com/subindex08geopark.htm>

この研修では 1 日目に中央構造線沿いに走る国道 152 号を長野県の茅野市から飯田市南信濃（遠山郷）まで、みなさんとバスおよび自家用車で南下していきます（ただし伊那から大鹿までは国道 153 号経由）。そして 2 日目の遠山郷では、中央構造線沿いに移動する途中で参加者各自に拾っていただいた石を使って、ご自身で手軽に楽しめる枯山水を作ってください、お持ち帰りいただきます。また枯山水を既にご体験済みの方には農園作業をしていただきます。そして昼食は地元の方を含めてみんなで作ってください、午後は藤原直哉が『激動の時局と日本の未来』というタイトルで講演をさせていただきます。

毎年恒例の早春の研修となりますが、例年大変多くの方に来ていただいております。今年も多くの方に来ていただき、断層と石をテーマに、日本列島の不思議を実感していただければと思います。

以下、体験研修の概要をご紹介します。

この研修は、今年から中央線茅野駅よりバスが運行されることになり、一部コースが変わりました。長野県の茅野駅を朝 9 時半にスタートしてバスと自家用車でコースを走っていきます。この時期は春のゴールデンウィークで高速道路が大変混み合い、東京、名古屋方面から車でおいでの方は渋滞で集合に遅れることが珍しくありません。どうぞ今年から、電車で中央線の茅野までお越しいただき、バスをご利用ください。東京方面からお越しの場合は新宿 7 時発のスーパーあずさ 1 号で茅野には 9 時 8 分に着きます（なお当日は臨時電車あずさ 71 号もあり、新宿 6 時 30 分発、茅野 8 時 57 分着です）。また名古屋方面からお越しの場合は名古屋 7 時発のワイドビューしなの 1 号で塩尻に 8 時 57 分に着き、3 分の乗り換えで塩尻 9 時発の特急あずさ 8 号新宿行きで茅野に 9 時 21 分に着きます。そして茅野駅に着きましたら西口に出てください。

お帰りは飯田線平岡駅から飯田線で豊橋に出て、東京および名古屋方面へ新幹線でお帰りいただけます。

自動車でご参加の方は朝 9 時 25 分までに中央線茅野駅西口前にお越しください（最寄りのインターは中央高速道諏訪 I C）。バスと一緒に遠山郷まで走っていきます。なお、自動車でご参加の方で集合時間にもし間に合わない場合は、昼食を取る予定の大鹿村の塩の里まで直接お越しください。そちらで合流となります。

なお道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には、臨機応変に迂回します。特に今回の行程では、地蔵峠から南信濃の間は道や天気が崩れると通れなくなり、大きく迂回する可能性があるため、あらかじめご了承下さい。また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。

まず、研修は茅野駅をスタートして、信濃国の一之宮である諏訪大社上社本宮に行きます。諏訪市に面する諏訪湖はとても有名な湖ですが、実はこの湖の下では日本列島を東西に貫く中央構造線と、日本列島を南北に貫く糸魚川静岡構造線という2大断層が交差しています。そのため、諏訪湖も湖底に貯まった泥を除くと、本当の湖底は底知れず深いのだそうです。しかもその交差点で糸魚川静岡構造線が横にずれて中央構造線を一部分断しているのです。諏訪は縄文時代に青森と共に日本の中心のひとつだったと言われていますが、依然として謎の多い場所です。ご存知のように諏訪大社では7年に一度、御柱（おんばしら）と呼ばれるお祭りがあり、男たちが巨大な御神木を神社まで運びます。実は御柱というお祭りは遠山郷にも伝わっていて、遠山郷にある諏訪神社でも、7年に一度、御神木が奉納されます。これも中央構造線沿いに信仰や文化が入ってきたものと思われま

す。諏訪大社上社本宮前を出ると、国道152号はすぐに急な上りになり、高度差400メートルをたった3キロで上って杖突（つえつき）峠（標高1247メートル）に至ります。この急な上り坂は断層のずれによって生まれたものです。杖突峠からは天気良ければ霧が峰方面の山々がよく見えます。そして杖突峠から南に緩やかに坂を下ると、桜や大奥の江嶋（絵島とも書く）で有名な高遠に至ります。この国道152号は秋葉街道とも呼ばれ、近世は遠州の秋葉山に通ずる信仰の道でしたし、それ以前の戦国時代には甲斐の武田軍の軍道でもありましたし、時代を超えて塩を運んだ塩の道でもありました。その後、一旦中央構造線を離れて国道153号に出て、中川村から再び152号に戻り、大鹿村の鹿塩（かしお）温泉の塩の里に行きます。

鹿塩温泉には、塩壺と呼ばれる場所から海の水と同じ濃度の井戸水が湧いていて、これを沸かして山塩と呼ばれる塩が作られています。この山塩は大変おいしいお塩で、一度食べたら止められないほどおいしいお塩です。あまり多くの量は生産できないのですが、日本列島のなかでここでしか作られていない山塩を是非お試し下さい。またこの海水と同じ濃度の井戸水は、科学的にどこから来たのかわかっていない塩水だそうで、中央構造線の神秘が感じられるお塩でもあります。そしてここで昼食となります。昼食は地元の仕出し屋さんからのお弁当となります。

それからもう少し南下して、大鹿村営中央構造線博物館を見学します。ここには中央構造線を知るためのさまざまな展示があり、学芸員の方にお話をいただいて、日本列島の成り立ちから今日に至るまでの地学的な時間的スケールで日本を見ていただきたいと思

います。中央構造線博物館を出ると、再び国道152号は険しい峠道になります。そして中央構造線の露頭が見える安康の露頭に寄ります。ここは川の反対側に見事に断層が見えていて、足元にはさまざまな種類、色の石が落ちています。そしてこの露頭を見学して、さらに国道152号を上ると、やがて国道は人が歩くことすら難しい点線国道になります。しかしそのすぐ脇には隣の谷を上る林道が通っていますので、それを上って地藏峠（標高1314メートル）を経由して、再び中央構造線沿いに国道を下ります。

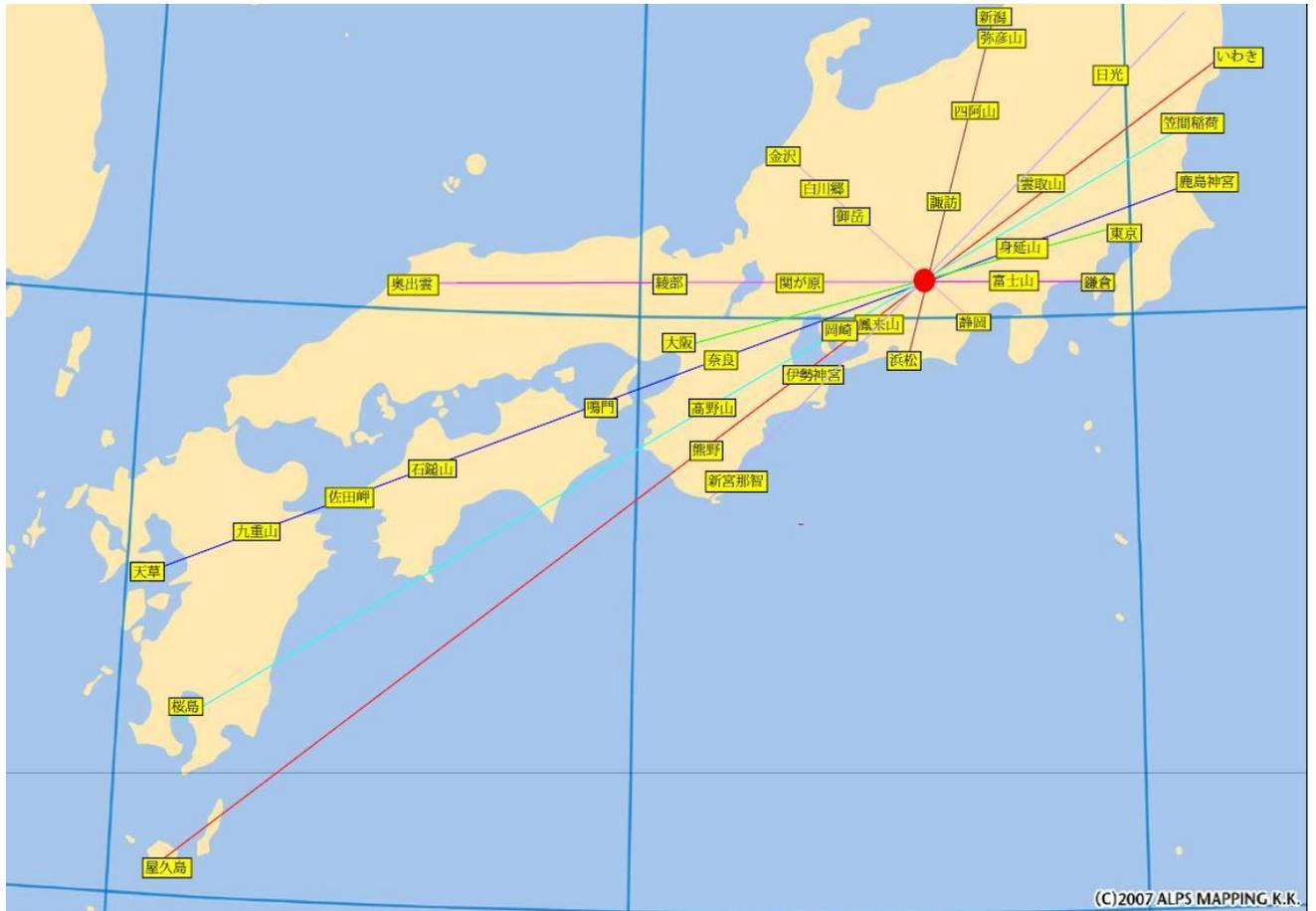
そして遠山川沿いに南信濃地区に入り、小道木（こどうき）地区で、できれば遠山川の河原で散策をしたいと思

います。ここには河原に埋まっている埋没木があります。埋没木は今から1300年ほど前に巨大地震による一瞬の山崩れで埋没してしまった、当時の樹齢数百年のスギやヒノキやケヤキの立ち木が近年露出したものです。ヒノキなどは今でもヒノキの香りが漂い、古代の木の命をそのまま感じるすることができます。さらにこの地区には、熊野神社があります。実は熊野神社の拜殿の前の地面に手をかざすと、不思議と気を感じます。それが何に由来する気かはわからないのですが、とにかく気の出る神社です。そもそも遠山郷は次ページの地図のように、日本の多くの不思議な場所を直線で結んだ交点にあります。何か我々の知らないエネルギーが出ているのかもしれない。そして和田地区にある飯田市南信濃自治振興センターを見学します。ここは近年できた地域交流の中心施設で、ここには埋没木の解説があるほか、遠山郷で伐採された7種類の見事な巨木が建物の前面に並べられています（なお、埋没木、熊野神社、南信濃自治振興センターの見学は時間

の関係で翌日になる可能性があります)。

そして、今日一日の疲れをいやすべく、遠山温泉郷かぐらの湯に行きます。かぐらの湯は遠山郷に沸く源泉 43 度の高濃度塩化物温泉で、豊富な湯量と熱いお湯で、疲れを癒していただきます。入浴後は自家用車でお越しの方もバスにお乗りいただき、自家用車はそのままかぐらの湯の駐車場に置いておいていただきます。

お泊りは中央構造線沿いに国道 152 号をさらに南に下った**此田 (このた) 地区**にある**民宿このた**です。ここはもう少し南に下ると国道 152 号の最大の難所**青崩峠**で、峠の下に**青崩峠道路**を作る工事が進められています (現在は青崩峠を迂回する**兵越 (ひょうこし) 峠**が車の往来に使われています)。



そして宿の前でも青崩れの名にふさわしく、青緑色の崖を見ることができますし、地面にも青緑色の石を多数見ることができます。民宿このたでは、野菜もきのこも雑穀も、調味料に至るまですべて自家製のものを使った、お母さんと若旦那さん手作りのこだわりの料理を堪能していただきます。郷土料理・創作料理のレパトリーも多く、常連さんを飽きさせません。窓から眺める**小嵐溪谷**も絶景です。

そしてお食事は、地元の方々との懇親会を兼ねています。都会の人にも物怖じしない遠山郷の皆さんと交流してください。遠山郷の皆さんもお客様と話すことがとても楽しいようです (なお、お申し込み多数の場合、若くて元気な方には、懇親会のあと、此田よりも標高の低いところにある八重河内地区の**いろいろの宿島畑**に分宿していただきます。当方で送迎いたしますのでどうぞご了承ください)。

二日目はまず、みんなで此田地区を散策します。ここから見える雄大な山々と急峻な地形をお楽しみください。そして再び**和田**地区まで戻って、**龍淵寺**に行きます。龍淵寺はこの地域を治めていた遠山氏の菩提寺です。龍淵寺の境内にコンコンと湧き出す**観音霊水**は、日本全国の**名水**のなかで最もカルシウムとマグネシウムの含有量が多いお水で、硬水ながらとても飲みやすいお水を求めて、全国から人が集まってきます。このお水も中央構造線の恵みだと思えます。どうぞ参加者のみなさんもペットボトルやポリタンをご用意いただいて、おい

しいお水を持って帰ってお楽しみ下さい。

さらに観音霊水のすぐそばには、**殿町の茶屋**というお店があって、名物の**ふじ姫饅頭**を売っています。地元の女性が経営しているこのお店は、知る人ぞ知るお饅頭屋さんで、とてもおいしい手作りのお饅頭を、心温まるおもてなしと共にごいただくことができます。そして大抵は午前中で売り切れになり、外部では一切買うことができない貴重なお饅頭です。

それから今回、遠山郷枯山水体験研修を開催する**旧木沢小学校**に行きます。旧木沢小学校は平成11年に廃校となった地元の小学校ですが、地元の方が保存して**地域活性化施設**として多目的に利用されています。校内には南アルプスの**登山**、かつて遠山川沿いに走っていた**森林鉄道**、地元で伝わる伝統の祭り、**霜月祭り**などの展示があるほか、往時の教室が再現されていて、一日体験入学や映画や演劇上映、コンサート、CMやビデオ・映画の撮影など、さまざまな行事に使われています。また図書室には藤原直哉の蔵書約3千冊が寄贈されて、**藤原文庫**と命名されています。**遠山藤原学校**の事務所も木沢小学校のすぐ隣にあり、**遠山藤原学校観光農園**も併設されています。

旧木沢小学校では展示物を見学した後、遠山郷**枯山水**体験研修を開催します。枯山水というのは、水のない、石や砂などで作るお庭のことで、講師は**遠山郷で個の花を咲かせよう会**の幹事で、愛知県で造園業を営まれる、遠山郷スタッフのお一人、**久志公洋さん**。今回は一人ずつコンパクトな植木鉢に、前日の研修中に各自選んで拾っていただいた石を使って、鉢植え庭園の枯山水を実際に創っていただきます。なお、遠山郷で個の花を咲かせよう会とは、遠山郷が好きで遠山郷にしばしばお出での方で、何かご自分の得意技をお持ちの方、得意技をお持ちになりたいとお思いの方で作る会です。私も会員だ！と言えば自動的に会員になれる会です。まさに遠山の大自然の中で、中央構造線の石を生かして、自分だけのお庭を創っていただきます。デジタルではないアナログの世界、「見立て」による自然を楽しんでいただきたいと思います。また、既に枯山水研修を体験済みの方は、どうぞ藤原学校観光農園で**農作業**をお楽しみください。

2日目の昼食は旧木沢小学校にて、地元の方や遠山藤原学校スタッフと一緒にみんなで食事を作って食べます。やはり遠山郷の秘境に来て、**みんなで協力して同じ釜の飯を作って食べる**ことは、この乱世の時代にとっても意義あることだと思います。なるべく旬の地元の食材を生かして、みなさんでおいしい昼食を楽しみましょう。

その後、改めて旧木沢小学校の校内を見学していただいた後、2時から遠山藤原学校研修講演「**激動の時局と日本の未来**」となります。全国各地の藤原塾のように1時間30分ほど、たっぷり時局と今後の行方、そしてこれから取るべき戦略を考えていきます。なお、この講演は録音なしで、ざっくばらんにやりたいと思います。またこの講演のなかで「**インターネットラジオの公開録音**」を行います。火曜日にアップする私のインターネットラジオの番組のうちの1本を皆さんの前で公開録音します。

そして午後3時45分に旧木沢小学校で解散。道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方はバスでかぐらの湯およびJR飯田線の平岡駅までお送りいたします。そして平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行きますと、豊橋には18時31分に着きます。豊橋から東京方面にお帰りの方は豊橋を18時45分に出るひかり530号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。また名古屋方面にお帰りの方は豊橋を18時45分に出るこだま671号で、名古屋には19時14分に到着します。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に中央構造線や枯山水、遠山郷の自然、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、中央構造線と枯山水と遠山郷のファンになって、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思っています。

2012年3月吉日  
シンクタンク藤原事務所  
会長・経済アナリスト 藤原直哉

## 遠山郷枯山水体験研修 『石との戯れ』

日本を代表する作庭家、重森三玲氏は次のような言葉を残しておられます。

**庭をもつことは、自然の一部を持有することです**

もし日本だけの純粹な、そして、独特な芸術を求めるとすれば、庭園と生け花が、最たるものです。その数、質、歴史において日本ほど傑出した庭園国は世界にない。重森三玲

本当にそのとおりだと思います。そしてそのなかでも枯山水という庭園は、最も日本らしいお庭ではないでしょうか。枯山水にもいろいろありますが、今回皆さんに創っていただきますのは、石、土、白砂、そして遠山郷の苔を使った枯山水の鉢植え庭園です。材料はすべて自然のものを使った、自分だけの庭園です。

実にロハスそのものだと思いますか？

たったこれだけですが、石の据え方ひとつで全然ちがうのです。

石には顔があります。表情があります。石の扱い方ひとつで微妙に変化します。

また、各石の配置、あしらい方で相乗効果が生まれ、庭園全体がすばらしくなります。

そうです。リーダーシップとも通ずる部分があるのです。

基本的な石の知識と作法を覚えれば、だれでも簡単に作庭できます。

しかし同時にとても奥が深く、際限がありません。ですからとてもおもしろいのです。とても癒されます。

先の重森氏の言葉は、現代風に直しますと、「**庭をもつことは、自然の一部を持有し、自然と共生することです**」、という意味になるのではないのでしょうか。

中央構造線と遠山郷のどこにでもある石を使って、世界にひとつだけの、あなたの枯山水庭園を作庭してみましよう。

是非ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2012年3月吉日  
遠山郷で個の花を咲かせよう会 幹事  
株式会社大喜造園土木  
代表取締役 久志公洋

久志 公洋 (くし きみひろ) 略歴

株式会社大喜造園土木 代表取締役

〒496-0905

愛知県愛西市北一色町証文220-23

Tel 0567-24-4513 Fax 0567-24-4594

E-mail : [soyogo@a-niwa.com](mailto:soyogo@a-niwa.com)

homepage : <http://www.a-niwa.com>

昭和32年 愛知県名古屋市生まれ

昭和50年 愛知県立稲沢高等学校造園土木科卒業

東海園株式会社入社

主に民間工事統括責任者として工場緑化・街路緑化・公園造築  
公共施設の緑化・住宅庭園・茶室作庭などあらゆる造園工事に従事

昭和63年 株式会社大喜造園土木代表取締役

～現在10年ほど前より、「人にやさしい・地球にやさしい」を  
モットーに無農薬・無化学肥料でのお庭造り・メンテナンスを  
推奨しています。

## 体験研修の内容

- 1) 簡単な庭の歴史と形式  
池泉遊舟式庭園、池泉回遊式庭園、書院などからの鑑賞式、枯山水、路地(茶庭)
- 2) 自然の材料と芸術的な構成  
自然の材料と人工的材料、材料を選ぶこととは、庭の芸術的な構成とは
- 3) 岩石の種類と特徴  
名石よりありふれた石に価値を  
全国各地の庭石  
庭石の名称(花崗岩(御影石)、青石(結晶片岩)、安山岩、赤玉石、凝灰岩)
- 4) 石の表情とは  
石には顔がある  
石の各部分の名称  
(天端・角・段、鼻・顎・見つき、見込み・根張り、頭・胴・腰・脚・肩)
- 5) 石を回して変化する石の表情
- 6) 根入れの深さで変わる石の表情
- 7) 実習(作庭)

なお、お作りいただいた枯山水をお持ち帰りいただくための宅配パックも実費で用意しております。宅配パックに梱包してお車に積んでお持ち帰りいただけます。また、実費にて宅配便で発送することも可能です。

## < 2、研修日程 >

4月28日（土）

時間	予定		写真
9:30	出発	J R 中央線茅野駅西口をバスおよび自家用車で出発  ・電車でお越しの方は、茅野駅西口前集合 <u>新宿から</u> ：新宿7時発スーパーあずさ1号、茅野9時8分着 あるいは新宿6時30分発あずさ71号、茅野8時57分着 <u>名古屋から</u> ：名古屋7時発しなの1号、塩尻であずさ8号に乗り換えて茅野に9時21分着 ・自家用車でお越しの方は、9時25分までにJ R 茅野駅西口前集合（最寄りのインターは、中央高速道諏訪IC）	 杖突峠
9:45	到着	諏訪大社上社本宮	
10:25	出発		
10:45	到着	杖突峠	
10:55	出発		
12:50	到着	鹿塩温泉・塩の里、昼食	中央構造線の露頭
13:50	出発		
14:05	到着	中央構造線博物館	ゼロ磁場
15:05	出発		
15:35	到着	安康の露頭	
15:55	出発		
17:30	到着	かぐらの湯	
18:30	出発	（途中時間があれば、熊野神社（気の出る神社）、小道木の埋没木、飯田市南信濃自治振興センターを見学。時間がなければ翌日見学）	
19:00	到着	民宿このた、夕食・懇親会 その後ご希望の方は二次会へ また、いろいろの宿島畑へ分宿の方は車でお送りします	しらびそ高原（夏）  下栗の里（夏）

4月29日(日)

時間	予定		写真
6:30	起床	民宿このた、あるいは、いろいろの宿島畑	
7:00	朝食		
7:30		此田地区散策	
8:00	出発		
8:30	到着	龍淵寺、殿町の茶屋、観音霊水	殿町の茶屋(ふじ姫饅頭)
9:20	出発	観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトルやポリタンクをご用意下さい。	
9:30	到着	旧木沢小学校、見学	
10:00	講座	遠山郷枯山水体験研修または農園作業	
11:30	昼食	旧木沢小学校でみんなで昼食を調理して食事	観音霊水
13:30		旧木沢小学校内を見学	
14:00	講演	藤原直哉講演会『激動の時局と日本の未来』	
15:30	終了		
15:45	解散	現地解散	木沢小学校
		電車でお越しの方、お車でお越しの方は、かぐらの湯およびJR飯田線平岡駅までバスでお送りします。	
		<p>豊橋方面行特急伊那路4号の平岡出発は16:42です。          豊橋着は18:31。豊橋から東京方面お帰りの方は、豊橋18:45発ひかり530号で東京20:10着。          また名古屋方面お帰りの方は、豊橋18:45発こだま671号で名古屋19:14着。</p>	
		<p><u>なお、道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には臨機応変に迂回します。特に今回の行程では地蔵峠から南信濃の間は、道や天气が崩れると行かれなくなる可能性があるため、あらかじめご了承下さい。</u></p>	
		<p><u>また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。</u></p>	

### < 3. 研修費用 >

大人 1名 30,000円

学生 (大学生・専門学校生以下、中学生以上) 1名 15,000円

子供 (小学生以下) 1名 5,000円

なお、お食事とお布団の事前のご用意が必要でない乳児は無料です

#### (1) 研修費用に含まれるもの

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊料金</li> </ul>	<p>原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、</p> <p>民宿 このた 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内 1373 TEL 0260-34-5034 FAX 0260-34-5091</p> <p>また、民宿このたに泊まり切れない場合には、以下の旅館に分宿</p> <p>いろりの宿 島畑 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内 580 TEL 0260-34-2286 FAX 0260-34-2281 E-mail <a href="mailto:info@shimabata.com">info@shimabata.com</a></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事料金</li> </ul>	<p>日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入浴料</li> <li>・ 講演料</li> <li>・ ガイド料</li> <li>・ 入館料</li> <li>・ 遠山郷内交通費</li> <li>・ 旅行保険料等</li> </ul>	<p>日程表に記載されたかぐらの湯の入浴料、枯山水研修料、藤原直哉講演会の講演料、博物館等入館料、旧木沢小学校管理費、農業研修ガイド料、かぐらの湯入浴料、下記旅行保険料</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修講師</li> </ul>	<p>シンクタンク藤原事務所 藤原直哉</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行保険</li> </ul>	<p>(限度額お一人様死亡障害2千万円)</p>

#### (2) 研修費用に含まれないもの

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人的性質の費用</li> </ul>	<p>タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします</p>
--	---

## < 5. 研修要領 >

募集人員	<p>20名（最小催行人数：10名）          なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。          参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください          （FAX または郵送でお願いします）</p>	
研修代金	<p>2012年4月27日（火）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。          郵便局          記号：10250          番号：89520371          口座名義：有限会社藤原事務所          または          ゆうちょ銀行（郵便局）          店名：〇二八（ゼロ二ハチ）          店番：028          預金種目：普通預金          口座番号：8952037          口座名義：有限会社藤原事務所</p>	
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p>	
	<p>出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</p>	<p>大人1万円          学生5千円          子供2千5百円</p>
	<p>出発日の前日より起算して2週間前まで</p>	<p>参加費用の40%</p>
	<p>出発日の前々日および前日</p>	<p>参加費用の50%</p>
	<p>出発日の当日又は無連絡不参加の場合</p>	<p>参加費用の80%</p>
	<p>研修開始後</p>	<p>参加費用の100%</p>
研修主催（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所          〒250-0011 神奈川県小田原市栄町 2-13-12 ASUKA ビル 2F          電話 0465-44-4750          FAX 0465-44-4751           電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp          担当 樋口敬子（ひぐち けいこ）   <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u>  <u>090-3046-6354</u></p>	

## < 6. 研修概要 >

・ 研修名称	2012年4月下旬遠山藤原学校研修
・ 日時	2012年4月28日(土)・29日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県大鹿村および飯田市南信濃地区
・ 集合・解散場所	<b>現地</b> 集合：28日(土) 9時25分までにJR中央線茅野駅西口前 解散：29日(日) 15時45分に旧木沢小学校  <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <b>090-3046-6354</b>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演、学習など
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉および地元、学校スタッフ

## < 7. 注意事項、および持ち物など >

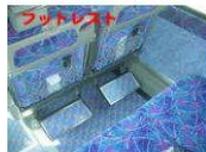
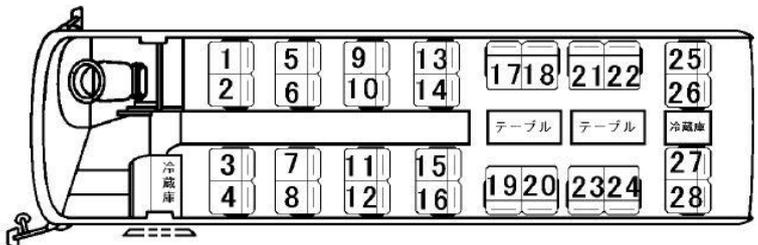
- ・ 散策および農園作業を行いますので、運動靴、汚れてもよい作業着、軍手、帽子、傘やカッパ等の雨具をお持ち下さい。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。
- ・ 農作業用の長靴は当方で用意します。
- ・ 朝夕は冷え込みますので、防寒具や上着をお持ちください。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

# 希望と心のふれあいの旅



## 便利・快適・安全を追求したスーパーサルーンバス Isuzu 465 28席

座席配置(サロン状態、座席を回転して前向きにも出来ます)



- 主な装備・仕様
- 足元ゆったりフットレスト付 28 席
  - 全シート可倒式アームレスト
  - シートバックテーブル・シートポケット  
・コップ立て・灰皿
  - 8 席回転サロン (4 席のみでも使用可)
  - サロン席 2 分割テーブル
  - トレー式ルームラック
  - 大型ボトルクーラー (前後 2ヶ所)
  - 大型貫通トランク
  - 大型冷凍冷蔵庫 (60Lトランク内)
  - 給湯ポット
  - 電動格納式カラー液晶TV (前部 20 型, サロン席 15 型)
  - TVチューナー  
ビデオ・CD・DVDデッキ
  - シンセサイザーカラオケ
  - 遠赤外線式ワイヤレスマイク
  - 障害物のないフロントワイドビュー
  - 乗り降りスムーズ フロントタイプ (120mm)



松川町から望む南アルプス(赤石山脈)(上段:南アルプスの山々、中段:前山の山々、下段:伊那山地の山々)

## 営業案内

### 貸切バス事業

### 一般貸切、各種送迎

小さなグループから団体旅行まで  
旅のガイド付、地域観光案内

### 旅行事業

### 海外旅行、国内旅行

一度行ってみたいかった話題の観光地  
ご希望に応じたコースの企画・見積と  
手配・ご案内をさせていただきます



4列20人乗りサロン車



4列21人乗りサロン車

## マツカフ観光バス株式会社

本社/営業所 TEL 0265-36-2345(代)  
FAX 0265-36-6060

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2  
一般旅客運送業 北信交旅第813号  
長野県知事登録旅行業 第3-442号  
社団法人 全国旅行業協会正会員

## 自動車でお越しの方のための情報

- ・ J R 茅野駅西口：長野県茅野市茅野 3506 電話 0266-72-2242、最寄りの I C は中央高速道諏訪 I C (一般道)
- ・ 諏訪大社上社本宮：長野県諏訪市中洲宮山 1 電話 0266-52-1919 (国道 152 号)
- ・ 杖突峠 (峠の茶屋)：長野県茅野市宮川 3673 (国道 152 号—高遠—県道 209 号—伊那—国道 153 号—中川村坂戸橋—県道 18 号—葛島—県道 59・22 号—大鹿村役場—国道 152 号—鹿塩—塩の里)
- ・ 塩の里食事処：長野県下伊那郡大鹿村大字鹿塩 364-1 電話 0265-39-2338 (国道 152 号)
- ・ 中央構造線博物館：長野県下伊那郡大鹿村大河原 988 電話 0265-39-2205 (国道 152 号)
- ・ 安康の露頭：長野県下伊那郡大鹿村 (国道 152 号)
- ・ かぐらの湯：長野県飯田市南信濃和田 456 道の駅遠山郷 電話 0260-34-1085 最寄りの I C は中央高速道飯田 I C、飯田山本 I C、松川 I C

# 申 込 書

2012年4月下旬 遠山藤原学校研修 4月28・29日 ご記入日： 年 月 日

**選択してください**

・ 自家用車でご参加

・ 電車でご参加

フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前		生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)			
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年) 年 月 日 (満 歳)

## ■ ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校    ※どちらかにチェックをおつけください。	
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。 部署： _____ 役職： _____
ご連絡先 住所	〒 _____
TEL	(       ) _____ FAX (       ) _____
携帯電話	緊急時 連絡可・不可
電子メール	_____ @ _____
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>
●その他ご希望等ございましたらご記入ください。	

シンクタンク 藤原事務所 担当：樋口敬子

TEL : 0465-44-4750

E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先： 0 4 6 5 — 4 4 — 4 7 5 1 ↑